



横浜市立富岡小学校

学校だより11月号



校長 浅野 修一

秋の深まりを日一日と感ずる、気持ちのよい季節となりました。桜前線が少しずつ北上していったように紅葉前線、初霜、初雪の南下の便りが届き始めています。コロナ禍の影響などで周囲の大きな変化に振り回されている子どもたちが、澄んだ秋空、爽やかな秋風、錦秋、作物の収穫、行く秋の風情等々、自然の営みや季節の移ろいに気づいてくれることを願う今日この頃です。

先日、下校時の見守りをしてくださっている地域の方からお話がありました。見守りをしているときに、いつも通る4年生のお子さんからお手紙をいただいたとのことでした。内容は「いつも挨拶してくれてありがとうございます。わたしも挨拶するのが好きなのでうれしいです。今、学校で4年生の仲間たちと『あいさつパトロール』をしています。いつか私の仲間に来てほしいです。」というものです。いただいた地域の方はとてもうれしそうにしていました。見守りの協力をしていただいている全ての方々へも含めて、日頃の活動への何よりのプレゼントだったと思います。子どもと地域がつながっている「富岡のまち」であることを実感しました。

富岡小学校は、挨拶あふれる学校だと感じます。前述した地域の方々からの挨拶はもちろんのこと、現在は4年生が毎日、各昇降口や南門に立って「あいさつ運動」を行っています。それを見た3年生が、最近「あいさつ運動」を始めたようです。さらに高学年の子どもたちを中心に、全学年に呼び掛けるなどしながら、様々な時期や場面で挨拶の輪を広げています。このような取組を継続的に行ってきたからこそ、自然に挨拶ができる子どもたちが増えていったのだろうと思っています。

もちろん、挨拶は強制的に行うものではなく、自発的な思いからされるものです。しかし、子ども同士で自分から挨拶の声を出すことは、なかなか勇気のいることではないでしょうか。まずは挨拶されたら挨拶で返すというところから始めていけば、自分が挨拶したいときに自然と声が出てくるのではと考えています。この富岡の伝統をこれからも引き継いで、いつまでも「挨拶あふれる富岡のまち」であってほしいと思います。

さて、10月11日(火)に後期が始まって1か月が過ぎました。新型コロナの感染も予断を許しませんが、全国的に状況も落ち着いてきて、本校でも校外学習を含めて様々な教育活動を行うことができました。前期を含めた10月の校外活動を紹介いたします。それぞれの活動の中で、子どもたちの生き生きとした笑顔をたくさん見ることができました。保護者の皆様には活動の準備等でご協力をいただきました。ありがとうございました。詳しくはこのおたより中面をご覧ください。

- <個別級> 10/27 遠足(子ども宇宙科学館) サイエンスショーが楽しかったよ!
- <1年生> 10/19 遠足(長浜公園) やっと行けたよ!うれしいな!!
- <2年生> 10/12 遠足(野毛山動物園) たくさんの動物を見ることができました!
- <3年生> 10/21 金沢区音楽会(金沢公会堂) 素晴らしい演奏でした!
- <4年生> 10/5 社会科見学(資源循環局金沢工場) クレーンが大迫力でした!
- <5年生> 10/13~14 愛川宿泊体験学習 初めての泊りで盛り上がりました!
- <6年生> 10/28 社会科見学(鎌倉方面) 歴史を肌で感じることができました!

11月も、学校では5年区球技大会や4年バレー鑑賞、全校での「発表とみおかタイム」が、また地域では「とみにウォークラリー」や「地域防災フェスタ」などの行事が予定されています。子どもたちの活躍を楽しみにしています。